

TRIANGLE Vol.7

TAMA RIVER RESPIRATORY, CARDIOLOGY AND ENDOCRINOLOGY LECTURE MEETING VOL.7

多摩川から、呼吸器と循環器・内分泌疾患について、3つの視点で眺めてみる

> ANGLE: 1

- 心不全類似疾患である肺気腫・慢性気管支炎のとらえ方
- 患者さんの症状・喫煙歴からみた適切な治療
- 患者の今の症状を改善する意義
- 患者の予後を考える意義
- ビレーズトリの臨床試験～症例を含めて～

> ANGLE: 2

近年「心腎連関」という概念が生まれたように全身の循環動態をしっかり管理していくことがプライマリーケアの根幹であり、JCS/JDS合同コンセンサスステートメントでも循環器疾患と糖尿病治療に於いては新たなエビデンスの蓄積により、クリニカルプラクティスにパラダイムシフトが生じております。

今回はその中で心疾患の終末像である心不全と糖尿病の関連性について私なりの考えをお伝えできたらと思います。

> ANGLE: 3

ステロイド製剤は様々な疾患の治療に使われる有用な製剤ですが、ご存じの通り様々な副作用もあります。

また、長期ステロイド製剤を使用した場合、内服製剤に限らず、吸入剤、外用剤、関節注射、点鼻薬などでも副腎不全を引き起こすこともあります。

この講演では、内因性クッシング症候群の症例から、様々な外因性クッシング症候群の症例、および、クッシング症候群に至らなくても副腎不全を引き起こすような使い方の例を挙げながら解説致します。ステロイド製剤を有効かつ安全に使用して頂く参考にして頂けたらと思います。